



# 道徳だより

2025.12.10号  
みよし市立緑丘小学校



## 1年生「どちらがいいかな」(内容項目B 礼儀)

### ねらい

心を込めた挨拶や振る舞いは、自分も相手も周りの人も気持ちがよくなり元気にすることを理解し、すすんで気持ちのよい挨拶や振る舞いをしようとする態度を育てる。

### 授業の様子

めあてを「挨拶したり、礼儀正しくしたりすると、どんないいことがあるのかな」として子どもたちに提示しました。挨拶が大切であることは、子どもたちはすでに知っています。しかし、実際の生活場面で挨拶をすべき状況になっても、「恥ずかしいから」「みんなもしていないから」「挨拶しても返ってこないかもしれないから」と自分の都合で挨拶をしないことがあります。挨拶することで「相手」が笑顔になったり、喜んだりしてくれます。自分のためにするのではなく、相手のことを考えて気持ちのよい挨拶ができるとよいと考え、授業に取り組みました。

#### 教材名「どちらがいいかな」の概要

3つの場面があり「お互いに気持ちよいのはどちらか」選択し、その理由を話し合います。

①学校でお客さんに会いました。 ②友達の家に遊びに行きました。 ③地域の見守りの方に会いました。



まず、事前に取ったアンケートで「挨拶するとどんないいことがあるか」聞いたところ18人が分からないと答えていることを紹介しました。教材の①②③について役割演技をしながらどちらがいいか考えました。①は全員が挨拶をする方を選びました。その理由として「止まって挨拶をしているから」「自分も相手も気持ちがいいから」「相手もうれしいから」と答えていました。②も全員がしっかり挨拶する方を選びました。その理由として「靴もそろえて挨拶ができるから」「気持ちいいから」「安心して遊べるから」「いい気持ちになるから」と答えていました。③では地域の方に会ったらどうするとよいかを役割演技を取り入れ行動で示してもらいました。止まってお辞儀をして挨拶する子、目を見て大きな声で挨拶する子、元気に挨拶する子、それぞれにどうしてそうしたのか聞きました。それらを「自分」「相手」「周りで見ている人たち」も気持ちがいいからとまとめました。これから1年生の挨拶に変化が見られましたら、ぜひ励ましの声をかけてください。

